

トータル保険だより 春号

●第180号 広報トータル保険だより
平成 22 年3月 1日 (有) トータル保険
〒997-0853 鶴岡市小淀川色田 69-28
TEL 0235-25-1315 FAX 0235-25-1064

最優秀賞受賞

30年 日経優秀製品・サービス賞において、損保ジャパンの医療保険「健康のお守り」が、最優秀賞を受賞することができました。これも皆様ののおかげと感謝申し上げます。



玄関で「遅い!」と怒鳴られ

私は四、五年前から、独り暮らしの高齢者を対象とした食事サービスの配達ドライバーとして、ボランティア活動をしています。「こんにちは。お弁当を持ってきました。お元氣ですか」と声をかけるより早く、玄関で待ち受けてくれる方が多く、畳に頭をすりつけんばかりに感謝してくださる人もあります。しかし、中には仏頂面をして無言で受け取る人もいれば、「ちよっとご飯が硬かったわ」とか、「味が薄すぎる」と、一言二言添えなければ気の済まない人もいて、年の取り方もいろいろだと思わされます。毎日お弁当を配達することと同時に、利用者の方

々が健康でおられるかどうかを確かめるのも私たちの仕事なので、必ず顔を合わせるようにしています。ある日のことです。他の地区で配達している人の都合がつかなくなつたため、一軒だけ私の受け持ち区域から遠く離れた家に配達することになりました。地図で探しながらその家にたどり着き、玄関の戸を開けると、そこにおじいさんが立っていて、すごい剣幕で「どうして今日はこんなに遅いんだ!」と怒鳴りつけられたのです。私は、とにかく謝って外に出ました。けれども、車に乗り込んでから腹が立って仕方がありませんでした。遅いといつても、お昼前の時間には届けています。「あんなふうだから、家の人も愛想をつか

して出て行ってしまったんだわ。あんな大きな家なのに!」もちろん、それは私の勝手な推測にすぎませんが、でも、怒鳴られた悔しさがおさまらなかつたのです。しばらくして、少し冷静になったところで改めて考えてみると、最初にあのおじいさんの家に回っていたら30分は早く届けられたはずだと気がつきました。そして、何よりも私の心の奥底には、「何でボランティアをして、叱られなければならぬの」という思いがあつたことに気づきました。よくよく考えてみれば、おじいさんのほうは実費のお弁当代を支払っているのです。商売なら、出前が遅れて叱られるのは当たり前です。おじいさんが怒つたのは無理のないことだったのに、私は「ボランティアなのだから、お礼を言ってもらつて当たり前。文句を言われるのは筋違い」という甘えがあつたのです。このおじいさんに怒鳴られたおかげで、私はいろいろと考えさせられました。人にはそれぞれに事情があり、相手の立場になつて考えたり、少し見方を変えることで歩み寄ることができるのであります。私は何度も謝つたつもりでしたが、心底から悪いという思いがなく、きつとおじいさんを責めるような「ごめんなさい」しか言えない氣持になりました。

お喜びの声

星野 様

私と榎本さんとの出会いは「保険屋さんで信頼できる人だから」との母からの紹介でした。見た目、ちよっと頼りなさそうな人に見えましたが:(笑)

当初一度ですむ手続きに、二度・三度と訪問してくれるその丁寧な?仕事ぶりで何度か会つて話をしている、その人柄と誠実さが伝わってきました。

今の時代、何か不手際があるとすぐに他のせいにする人が多い中、理由は問わず、私の要望をひたすら受けてくれます。その謙虚さから次第に「この人なら任せても心配ないかな」と思えるようになりました。

我が家では、知らず知らずうちに保険と名のつくものは全てお任せです。以前のように頻繁に保険を変えることもなくなりまして。「万一の時はすぐ榎本さんに!」どんな事故でも対応してもらえるのはありがたいです。これからも家族共々よろしくお願いします。

